

FASF 第 10 回基準諮問会議を開催

2010年8月2日、財務会計基準機構（FASF）において基準諮問会議（議長 西村東海ゴム工業（株）代表取締役社長）を開催し、4つのテーマについて審議が行われました。審議の様子は以下のとおりです。

(1) 企業会計基準委員会（ASBJ）の最近の活動状況について

都 ASBJ 常勤委員より、国際会計基準審議会（IASB）と米国財務会計基準審議会（FASB）の MoU に基づく作業計画の更新をにらみながら、会計基準のコンバージェンスに向けた活動の継続とプロジェクト計画表の更新を行っていること、4月より、当委員会委員、市場関係者及び関連省庁からのオブザーバーをメンバーとした「上場会社の個別財務諸表の取扱い（連結先行の考え方）に関する検討会」を立ち上げ、4回にわたり検討を行い、6月8日開催の企業会計審議会でその検討内容を報告していること、非上場会社の会計基準の在り方の検討状況及び日印ダイアログの発足をはじめ国際的な会計基準の開発に向けた貢献活動を実施しているなど ASBJ の最近の活動状況について報告が行われました。

その報告について、委員より、連結先行やダイナミック・アプローチについて ASBJ が個々の基準開発において検討する場合、具体的な判断基準があるかとの質問があり、ASBJ より、①連結先行の考え方に関する検討会では、連結先行した場合としない場合それぞれについての懸念についてまとめ、6月8日の審議会で報告した、②審議会の議論では、これらを比較考量して考えていくべきということになっている、③8月3日の審議会でさらに議論が進展すると思われるので、その結果を踏まえて体制の整備について検討したい、という説明がありました。

(2) 中期運営方針について

新井 ASBJ 副委員長から、2010年6月16日に公表した ASBJ の中期運営方針（季刊「会計基準」第30号50頁参照）について説明が行われました。

その説明に関し、委員より、企業から FASF に加入するメリットが何かあるのかという質問をよく受ける。ASBJ や FASF の活動に関係者に広く知らしめる機会を設けてほしいとの要望があり、ASBJ より本年より実施している ASBJ オープンセミナーの開催などを通じて対応していきたいとの説明がありました。

(3) 平成 22 年度アンケート調査の実施について

当財団では毎年、財団・委員会関係者に対してアンケート調査を行っておりますが、本年も実施し、年内にも報告することとしています。

(4) その他

オブザーバーで参加している金融庁より、「四半期財務諸表に関する会計基準の改正」及び「後発事象に関する会計基準等の策定」について検討の依頼があり、基準諮問会議で審議した結果、基準諮問会議として ASBJ に検討を提言することとなりました。